第6回女子ジュニア アジア・カップ													
	∃ 作			月29日 17:00~18:20									
場所			タイ・バンコク					天 候			晴れ		
試合				第2戦					算結身	<u> </u>	<del>-</del>		
l .	Count	try				RE	SU	ILT		-	Country		
	日本			Full Time 24 -				0	0 カザフスタン				
Japan				Half Time 10 -				0		Kazakhstan			
Start	No.		Name	Card			Ī	Start	No.		Name Ca		
	1		清水 香代				<b>V</b>	2	ι	Urmanova Guzal			
<b>V</b>	2		景山 恵						3	Yefremova Kristina			
<b>/</b>	3		錦織 えみ					<b>/</b>	4	Myrkassymova Moldir			
<b>✓</b>	4		山下 留依					<b>/</b>	5	Mukasheva Assel			
27	5		近藤 理美				<b>/</b>	7		Bulebayeva Aizhan			
28	6		一谷 奈歩					~	8	<b>.</b>	Kovyazina Regina		
<b>V</b>	7		佐藤 圭					<b>/</b>	9		Bauyrzhanova Talshyn		
<b>/</b>	8		真野 由佳梨	<u> </u>				<b>/</b>	10		Mukhambetova Aliya		
<b>✓</b>	9		日隈遥					~	11	Sabazova Symbat			
<b>/</b>	10		義浦 絵吏子					<b>/</b>	13	Lipunova Alexandra			
<b>✓</b>	11		佐々木 美知	l				~	14		Dyussembekova Amina		
<b>✓</b>	12		永井 葉月						15		Idirissova Gulim		
11	13		浦島 千春				~	16	Kan	Kambarbekova Moldir			
<b>V</b>	14		笠原 佳乃										
14	15		伊藤 彩乃										
<b>V</b>	16		永井 友理										
DNP	17		金藤祥子										
DNP	23		山田 明季	≠n dth					1.		11	Ol.	
			小林					Coach UMPIRE		Urmanova Olga			
UMPIRE Zho			Znou	Li (Chi)				UMPIRE		Toh Li Min(Sin)			
Country	Min		Name	Action	Sco	re		Country	Min		Name	Action	Score
JPN	4	永	·并 葉月	FG	1-0			JPN	46	公	·····································	FG	13-0
JPN	9		<u> </u>	FG	2-0	_		JPN	47		原佳乃	FG	14-0
JPN	11		井 友理	FG	3-0			JPN	51		島 千春	FG	15-0
JPN	13	浦	島 千春	FG	4-(	0		JPN	52	真	野 由佳梨	FG	16-0
JPN	14		日隈 遥	PC	5-(	0		JPN	53	佐	々木 美知	PC	17-0
JPN	24	1	佐藤 圭	PC	6-0	0		JPN	57	永	、井 葉月	FG	18-0
JPN	25		、井 友理	FG	7-0	0		JPN	62		野 由佳梨	FG	19-0
JPN	28		野 由佳梨	FG	8-0			JPN	63		佐藤 圭	FG	20-0
JPN	32		々木 美知	PC	9-0			JPN	64		井 葉月	FG	21-0
JPN	34		原佳乃	FG	10-			JPN	66		<u> </u>	FG	22-0
JPN	42		佐藤 圭	FG	11-			JPN	68		原佳乃	FG	23-0
JPN	44		日隈 遥	FG	12-	-0		JPN	69	伊	謙 彩乃	FG	24-0
日本の2戦目の相手は、カザフスタンであった。 日本は、相手が引いて守備をすることを予測して、ショートパスを主体に攻撃を仕掛けた。4分に右から#8真野がドリブルで持ち込み、左サイドの#12永井葉パスを送る。そのボールを、ダイレクトで豪快に決めて先制する。その後も、日本は巧みなパスとスティックワークを活かし9分、11分、13分とFGを奪い、さらに14分、24分にはPCから得点を挙げる。その後も、日本は攻撃の手を緩めず4点のFGを追加して、10-0で前半を折り返す。後半に入ると日本は、23m付近でのサイドチェンジを多用しスペースをつくり、ショートパスとスティックワークをさらに活かす攻撃を仕掛ける。42分には#7佐藤のリバースシュートで11点目を挙げると、44分46分、47分に立て続けにFGで得点を重ねる。60分までに18点の得点を取った日本は、ここでGKをフィールドプレーヤーに入れ替える。ゴール前にFW1人を増やし11人攻撃でさらに得点を狙いに行く日本は、その後、さらに6点のFGで加点する。 結局日本は、前半10-0、後半14-0、計24-0の大勝で2勝目を挙げ、勝ち点を6とした。													
	左口出		10/8) 15 0					日	本	61	シュート数 PC数	0	カザフスタン